

2023.06.22. 木曜礼拝「忠実、誠実であること 道を踏み外さない」Leitu 牧師

主よ、感謝します。共に祈りませんか？ 主よ、この歌を歌いながら、そう、私たちは同意するのですが、時々、それを実行するのは難しいです。今晚、特にあなたの御言葉を聞くためにここに集まっている私たちの注意を惹きつけてください。 私たちがあなたの生ける御言葉を聞き、あなたの御言葉が私たちの内に、私たちを通して生きることができるように、私たちをしっかりと支え、集中させてくださいますように。この教えを祝福してください。今晚、あなたの御言葉を伝えるレイトゥ牧師と共にいてください。 私たちは、あなたの御名、力ある御名、唯一の御名、イエスの御名によって祈ります。アーメン。アローハ！  
(会衆：アローハ！) オンラインの皆さん、そして礼拝堂にいらっしゃる皆さん、カルバリー・チャペル・カネオへようこそ。どうぞお座りください。まだ聖餐セットをお持ちでなければ、今取りに来て下さい。続けて JD 牧師のためにお祈りください。彼が必要な休息を十分に取れるようお祈りください。来週戻って来られます。今夜はヨシュア記3章から教えます。このメッセージのタイトルは、「道を踏み外さない：信仰によって渡る」始める前に祈りましょう。御言葉に神の祝福を祈り、求めましょう。父よ、私たちはあなたの御言葉の前に行きます。主よ、今夜この場所であなたがなさろうとしているすべてのことに、ただ感謝します。主よ、あなたの御言葉に感謝します。神の息吹を受けたものです。私たちは、ただあなたに感謝するために、主の御前に参ります。あなたが私たちに知ってほしいと望んでおられることを、私たちの心に語ってください。主よ、感謝します。主よ、私たちを常に信仰の民とさせてください。あなたが私たちを召されるとき、いつも渡らせてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。信仰とは何でしょう？ 私たちは皆、信仰とは何かという感覚を持っています。しかし、それを説明するのは簡単ではありません。ヘブル人への手紙11章6節にこう書かれています。

—ヘブル 11:6—

**信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならないのです。**

世俗的な信仰は神と対立します。世俗的な信仰は、自己への依存、自分の努力や成果への誇りといった内側に目を向けます。世俗的な信仰では、神は方程式に含まれません。世界中の宗教を調べてみると、つまり世界中の宗教を深く掘り下げると、その根底にあるのは、救いのための自己努力と行いであることがわかります。神は高慢になる可能性があるため、行いを根拠とすることを拒否されると私たちは知っています。私たちは皆、主に仕える者であっても、プライドを育ててしまう傾向があります。私たちは隣人を見て、「私が今日したことを見てください。あなたは何をしたの？」と。

聖書の中で、神は高慢を憎んでおられると教えています。だから、主が私たちを救うために選ばれた方法は、高慢さをなくすことでした。神は御子を十字架上で死なせられました。神が私たちを救うために選ばれた方法に信仰を置くことで、私たちは天国で神とともに永遠に過ごすことができます。アーメン？

ローマ人への手紙3章27節から28節

—ローマ 3:27—

**それでは、私たちの誇りはどこにあるのでしょうか。それは取り除かれました。どのような種類の律法によってでしょうか。行いの律法でしょうか。いいえ、信仰の律法によってです。**

—ローマ 3:28—

**人は律法の行いとは関わりなく、信仰によって義と認められると、私たちは考えているからです。**

エペソ人への手紙2章8節から9節。

—エペソ 2:8—

この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。

—エペソ 2:9—

行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。

「信仰」という言葉の聖書的定義は、ヘブル人への手紙に最もよく書かれています。ヘブル人への手紙 11章1節に書かれています。

—ヘブル 11:1—

さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

だから信仰には、私たちが望むことが含まれます。私たちは結果を見ることはできませんが、神は見ることに出来になると知っています。ヘブル人への手紙の一節に「希望/望み」という言葉があります。ヘブライ語で「希望」は「T-I-Q-W-A」です。「ひも」や「ロープ」を意味します。それは期待、望んでいるもの、私たちが待ち望み、期待したことの良い結果への希望を意味します。「Tiqwa/ティクワ」はヘブライ語の原語「qavah/カヴァ」に由来します。ねじることで「繋ぎ合わせる」という意味です。待っているものを辛抱強く期待するという意味です。

「あなたが結んだこの希望はねじり合わされている」それは神と繋がっているひもやロープです。私たちに先が見えませんが、神は見ておられます。しかし、信仰によって、私たちは辛抱強く神の答えを待ち、期待します。なぜなら、私たちは神と結びついており、このロープ、この希望は失望することはないからです。ローマ人への手紙 8章24節から25節にこうあります。

—ローマ 8:24—

私たちは、この望みとともに救われたのです。目に見える望みは望みではありません。目で見ているものを、だれが望むでしょうか。

—ローマ 8:25—

私たちはまだ見ていないものを望んでいるのですから、忍耐して待ち望みます。

先週取りあげたばかりの、ヨシュア記 2章で、ラハブは二人の偵察者と契約を結ぼうとしています。20節では、まず偵察者が話しています。

—ヨシュア 2:20—

だが、もしあなたが私たちの、このことをだれかに告げるなら、あなたが私たちに誓わせた、あなたへの誓から私たちは解かれます。」

ラハブは答えます。

—ヨシュア 2:21—

彼女は「おことばどおりにしましょう」と言い、二人を送り出した。彼らは去り、彼女は窓に赤いひもを結んだ。21節の「ひも」はヘブライ語で「tiqwa/ティクワ」ここでもまた、「繋がったひも」という意味があります。それは私たちの神への信仰と希望を含んでいました。ラハブは窓の外に緋色のひもを吊るします。緋色のひもは、彼女の霊的なひも、つまり、彼女が今、信仰のゆえにつながっている神への霊的な希望です。彼女は主が行動されるのを熱心に待ちました。おそらく、これまでの人生で最も多く祈ったでしょう。窓の外の緋色のひもは救いを物語っています。彼女は二人の偵察者を地上の希望として頼りました。しかし、彼女は神に繋がるひもに霊的な希望を託しています。信仰によって、彼女は神が自分

に好意を与えてくださることを期待して待っています。不安な瞬間があったはずですが。遊女であり、宿の経営者であるというビジネスをしている彼女は、自分が何者であるかという理由で、自分のチャンスを好ましく思っていなかったと思います。彼女には結果は分かりません。しかし、彼女は信仰と希望によって主に繋がったひもに結ばれて待っています。神の御言葉を知ると、神が彼女を選ばれたことがわかります。ヨハネの福音書 15 章 16 節から 17 節にこうあります。

#### —ヨハネ 15:16—

**あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるため、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものをすべて、父が与えてくださるようになるためです。**

これはユダヤ国歌、またの名をイスラエル国歌の歌詞です。「ユダヤ人の霊が心の奥底で熱望し、目を東に向け、シオンを見つめている限り、私たちの希望、2000 年来の希望は失われることはない。私たちの地、シオンとエルサレムの地で自由な民となるために。」

1948 年、彼らが歌い、待ち望んだこの希望はかなえられました。長い間待ち望んでいたテイクワが実現したのです。イスラエルは再び国家となりました。ローマがイスラエルを征服してから 2000 年が経っていました。民は世界中に散り散りになっていました。1948 年、神は預言者たちによって預言されたとおり、イスラエルは再び国家となりました。こんにち、世界中のユダヤ人が大勢、祖国に戻っています。エゼキエルや他の預言者たちは、こうなることを預言していました。エゼキエル書 11 章 16 節から 20 節にそのことが書かれています。

#### —エゼキエル 11:16—

**それゆえ言え。『神である主はこう言われる。わたしは彼らを遠く異邦の民の中へ移し、国々の中に散らした。しかし、わたしは彼らが行ったその国々で、しばらくの間、彼らの聖所となっていた。』**

#### —エゼキエル 11:17—

**それゆえ言え。『神である主はこう言われる。わたしはあなたがたを諸国の民の中から集め、あなたがたが散らされていた国々からあなたがたを呼び寄せ、あなたがたにイスラエルの地を与える。』**

16 節と 17 節が起り、ユダヤ人は神の約束通り、故郷に帰り、自分たちの土地に戻りました。歴史上、散り散りになった国民が祖国に戻ったことはありません。しかし、彼らは神に選ばれた民です。神は彼らを通して世界の救い主をもたらされます。イエスが生まれ、その母マリアはイスラエル人でした。神はユダヤ人を通してご自身の言葉である聖書をもたらされました。そう、この民は神の特別な民です。神はヨシュアに神の召しを与えられました。彼はヨルダン川を渡り、その地を征服し、イスラエルの部族間にその地を分割します。まず、ヨシュアは信仰をもって踏み出さなければなりませんでした。これらは、彼が成し遂げるよう召されている難しい務めです。信仰によって、彼は進み、従います。そう、彼は勝利を望み、祈りますが、その結果はわかりません。しかし、神は知っておられます。ラハブには緋色のひもがありました。ヨシュアには確固たる信仰がありました。二人とも神を信じ、神を敬いました。彼らは信仰をもって踏み出し、神は彼らを力強く使い、祝福されました。もし神が私たちの人生に召しを置かれたなら、私たちが信仰の一步を踏み出すよう祈ります。 そうすれば、祝福されることを知るでしょう。

私は、あなたが助ける人々を愛することを願っています。人に見られたいからということでやってはいけません。ただ功績バッジを集めようとしているなら、やめてください。神を愛しているからこそ、そうするのは。人々を愛し、大切に思っているからこそするのです。イエスがあなたのもとに置かれた

人々を愛してください。心を尽くし、思いを尽くし、魂を尽くして仕えなさい。あなたは本当に主に仕えています。ヨシュアは自分の召しを真剣に受け止めていました。彼は神と同胞を愛しました。自分ができる最善を尽くしたいと思うほど気にかけていました。繰り返しますが、ヨシュアは仕える心を持った立派な人です。彼は40年間、モーセに忠実に仕え、生涯をかけて神を敬いました。彼はミニストリーの良い面も悪い面も見ました。彼は常に不平を言う人たち、何でも知っていると考える人たちに対処してきました。神は不平を言う者に必ず対処されます。私たちはコラと彼の従者たちに何が起こったかを見ました。彼らは死にました。(民数記16参照)

しかし、ヨシュアは人々の良いところも見てきました。特に友人のカレブは強い信仰を持った男でした。だから信仰によって、彼は自分の人生における神の召しに献身します。ヨシュア記3章1節

#### ーヨシュア 3:1ー

**ヨシュアは翌朝早く起き、すべてのイスラエルの子らとともにシティムを旅立ち、ヨルダン川のところまで来て、それを渡る前にそこに泊まった。**

ヨシュアは朝早く起きているのが分かります。多くの人がそうであるように、早起きして一日を始めます。それはいつも主と話すことから始まります。「主よ、今日も私を導き、私の歩みを導いてください。主よ、あなたのご好意も祈ります。」私はまた、私と私の家族、私の友人、そして私たちの教会を守るあなたの盾を祈ります。それは常に良い出発点です。イエスは絶えず御父に祈っておられました。常に神と交わっておられました。主のご好意を求めるなら、それは私たちにとって良い習慣です。朝早くから忙しい人もいます。車の中で祈るのは良い習慣です。私はよく職場まで運転しながら、目を閉じて祈ったものです。ー(笑)ー 馬鹿げているのは分かっています。私はいつも日曜学校のクラスでそれを使い、子ども達は笑い、何人かは信じていました。クリスチャンのラジオを聴くのは素晴らしいです。

私はホノルルで仕事をしていた時、ここから約40分ほど運転していましたが、K-LIGHTラジオを聴くのがいつも楽しみでした。夜にデボーションをする人もおられます。主との交わりはいつでも、どこでも、常に良い実践となります。ヨシュアが成し遂げようとしているこの重大な任務について、彼は神のご好意を求めており、絶えず神の御座に懇願しています。アカシア・グローブ(シティム)はモアブにあります。ヨルダン川から約8マイルです。ヨシュアは民を動かします。イスラエルの民は西に移動し、ヨルダン川で再び宿営を設営します。この節は、ただ立ち上がって動いただけの簡単な作業に見えます。しかし、200万人以上が移動することを思い出してください。彼らは宿営を解体し、8マイル(約12km)歩き、ヨルダン川で再び宿営しなければなりません。繰り返しますが、イスラエルの民は移動に疲れています。彼らは祖国を所有するのが待ちきれません。ヨシュア記3章2節から4節にこうあります。

#### ーヨシュア 3:2ー

**三日後、つかさたちは宿営の中を巡り、**

#### ーヨシュア 3:3ー

**民に命じた。「あなたがたの神、主の契約の箱を見、さらにレビ人の祭司たちがそれを担いでいるのを見たら、自分のいる場所を出発して、その後を進みなさい。**

#### ーヨシュア 3:4ー

**あなたがたが行くべき道を知るためである。あなたがたは今まで、この道を通ったことがないからだ。ただし、あなたがたと箱の間に二千キュビトほどの距離をおけ。箱に近づいてはならない。」**

彼らはヨルダン川のほとりで3日間宿営しました。そして、三日が過ぎました。1節で、ヨシュアは

献身的な時間を過ごしました。ある時、主はヨシュアにご自身の計画を明らかにされました。ヨシュアはそれを指導者たちに伝え、指導者たちは神の計画を実行します。彼らは宿営地を回り、人々に指示を与えます。ようやく移動の準備が整います。興奮に包まれています。ヨシュアとその指導者たちは、偵察者たちが良い報告を持ち帰ってきたことに励まされました。敵は気弱で、ヨシュアとイスラエルの民を恐れ、さらに彼らの神を恐れています。神はこの地をアブラハムに約束されて以来、イスラエルの民はこの地に入ることを待ち望んできました。彼らは何世代にもわたって語り継がれてきた話を聞いていました。ようやく祖国を持つことができ、足を踏み入れられる場所があるという希望があります。ようやく荒野をさまよふのをやめることができ、ようやく休息する場所を持てます。幕屋の代わりに、神を礼拝する永続的な場所である神殿を建てます。そこで司令官たちは民に、契約の箱について行くよう指示しました。契約の箱は、神の臨在の象徴でした。主の御座の象徴でした。イスラエルの民は神に従い、神を信頼します。契約の箱は木製の箱で、純金で覆われていて、その中には十戒を記した石の板が入っていました。中にはマナの入った金の壺と、アロンの杖も入っていました。その蓋は「Mercy seat/憐みの座」（宥めの蓋）と呼ばれ、1つの純金でできていました。「憐みの座」の上には、2つのケルビムが向かい合っていました。憐みの座は神が座られる場所です。憐みの座から神は憐みを授けられます。荒野をさまよっている間、契約の箱はイスラエルの民が行く先々にありました。契約の箱は幕屋に置かれました。それは、幕屋の中で最も神聖な場所である至聖所に収められていました。大祭司だけが至聖所に入ることができました。年に一度、彼は契約の箱の前に立ちます。贖罪の日だけ、入ることができました。大祭司は憐みの座に血を振りかけました。その血は動物のいけにえから出たものです。祭司は、自分、祭司、大祭司、そして民の罪の赦しのために、いけにえの血を憐みの座に振りかけることによって、神の憐れみを懇願します。出エジプト記 25 章 21 節から 22 節にこうあります。

ー出エジプト 25:21ー

その『宥めの蓋』（憐みの座）を箱の上に載せる。箱の中には、わたしが与えるさとしの板を納める。

ー出エジプト 25:22ー

わたしはそこであなたと会見し、イスラエルの子らに向けてあなたに与える命令を、その『宥めの蓋』の上から、あかしの箱の上の二つのケルビムの間から、ことごとくあなたに語る。

ヨシュアは神の民を故郷に導く準備ができていましたが、行く手にある障害がありました。その後、25 節で洪水が起こったと書かれています。ヨルダン川が氾濫していました。収穫の時期には、毎年このようなことが起こっていたと書かれています。流れの速い水の激流が起こります。最近、YouTube で見たのですが、2012 年と 2021 年の映像で、ヨルダンが氾濫していました。そして、それは.....、水が押し寄せ、湧き出ていました。あの川を渡ることは不可能でした。洪水のために道路を閉鎖しなければなりません。映像では、水は猛威を振るっていました。つまり、ここに障害、邪魔があります。民がヨシュアの命令を待つ中、ヨシュアは民に語りかけ、指示を与えます。彼は言います。

「信仰によって、神があなたを渡らせてくださることを信じなさい。」 3 節でヨシュアは言います。

「あなたがたの神、主の契約の箱を見なさい。」彼は民に、自分について来るようには言いません。ヨシュアは自分に従うようには言いません。彼は主からのこのメッセージを伝えます。「契約の箱の中におられる神に従いなさい」と。ヨシュアは民を自分に向けていません。神に向けようとしています。歴史を通じて、このように主に従う者は祝福されました。レビ記 26 章 3 節から 14 節。

ーレビ 26:3ー

もし、あなたがたがわたしの掟に従って歩み、わたしの命令を守り、それらを行うなら、

ーレビ 26:4ー

わたしは時にかなってあなたがたに雨を与える。それにより地は産物を出し、畑の木々はその実を結ぶ。

ーレビ 26:5ー

あなたがたの麦打ちはぶどうの取り入れ時まで続き、ぶどうの取り入れは種蒔きの時まで続く。あなたがたは満ち足りるまでパンを食べ、安らかに自分たちの地に住む。

ーレビ 26:6ー

また、わたしはその地に平和を与える。あなたがたはだれにも脅かされずに寝る。また、わたしは悪い獣をその国から除く。剣があなたがたの地を歩き巡ることはない。

ーレビ 26:7ー

あなたがたは敵を追い、彼らはあなたがたの前に剣で倒れる。

ーレビ 26:8ー

あなたがたの五人は百人を追い、百人は一万人を追う。あなたがたの敵はあなたがたの前に剣によって倒れる。

ーレビ 26:9ー

わたしはあなたがたを顧み、多くの子を与えてあなたがたを増やし、あなたがたとのわたしの契約を確かなものにする。

ーレビ 26:10ー

あなたがたは長く蓄えられた古いものを食べ、新しいものを前にして、古いものを片付けるようになる。

ーレビ 26:11ー

わたしは、あなたがたのただ中にわたしの住まいを建てて。わたしの心は、あなたがたを嫌って退けたりはしない。

ーレビ 26:12ー

わたしはあなたがたの間を歩み、あなたがたの神となり、あなたがたはわたしの民となる。

ーレビ 26:13ー

わたしはあなたがたの神、主である。わたしはあなたがたを奴隷の身分から救い出すために、エジプトの地から導き出した。わたしは、あなたがたのくびきの横木を砕き、あなたがたが自立して歩めるようにした。

ーレビ 26:14ー

しかし、もし、あなたがたがわたしに聞き従わず、これらすべての命令を行わないなら、

私たちはこの後を埋めることができますね。アーメン？（会衆：アーメン）私たちが常に主に従っていくことを祈ります。従順からもたらされる祝福があります。成功を期待するなら、主に従ってください。私たちは主の御言葉、聖書、聖典を通して指示を得ることができます。4節に命令があります。「契約の箱の後は半マイルほど離れていなさい。それ以上近づいてはならない。これは神の箱だ。」

主が住まわれる場所は、敬意をもって扱われ、畏れをもって扱われるべきです。御使いたちは主を礼拝し、敬っているのですから、私たちも神を畏れ敬うべきです。ヨシュア記3章5節にこうあります。

ーヨシュア 3:5ー

ヨシュアは民に言った。「あなたがたは自らを聖別しなさい。明日、主があなたがたのただ中で不思議を

行われるから。』

ヨシュアは、人々が罪から離れ、神を敬い、この横断を果たすよう呼びかけています。私たちには神のご好意、祝福が必要です。明日の奇跡を期待しています。主は私たちに約束を与えてくださいました。私たちが渡るはずの場所には、洪水の水が押し寄せています。神が何をなさるかはわかりませんが、信仰によって、私たちは神に奇跡を託しています。ヤコブの手紙 1 章 5 節から 8 節にこうあります。

—ヤコブ 1:5—

あなたがたのうちに、知恵に欠けている人がいるなら、その人は、だれにでも惜しみなく、とがめることなく与えて下さる神に求めなさい。そうすれば与えられます。

—ヤコブ 1:6—

ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。

—ヤコブ 1:7—

その人は、主から何かをいただけると思っはなりません。

—ヤコブ 1:8—

そういう人は二心を抱く者で、歩む道すべてにおいて心が定まっていなからです。

ヨシュア記 3 章 6 節にこうあります。

—ヨシュア 3:6—

ヨシュアは祭司たちに「契約の箱を担ぎ、民の先頭に立って渡りなさい」と命じた。そこで彼らは契約の箱を担ぎ、民の先頭に立って進んだ。

そこでヨシュアは、民を連れて川を渡る準備を整えました。最初に動くのは祭司たちです。彼らは契約の箱の扱いに細心の注意を払わなければなりません。一步間違えれば、誰かが死ぬかもしれません。繰り返しになりますが、主に対する敬意と尊敬の思いは極めて重要です。民数記 4 章 15 節にこうあります。

—民数記 4:15—

宿営が移動する際には、アロンとその子らが聖所と聖所のすべての用具をおおい終わってから、その後でケハテ族が入って行って、これらを運ばなければならない。彼らが聖なるものに触れて死ぬことのないようにするためである。これらは、会見の天幕でケハテ族が運ぶ物である。

祭司たちは、決して触れてはならない、さもなければ死んでしまう契約の箱を運ぶ役目を任されました。辺り一面、洪水が押し寄せています。どうやって契約の箱を傾げずに運ぶのでしょうか？ 契約の箱を運ぶ棒を持つ、二人の男がいます。彼らは棒を契約の箱の輪に通します。しかし、一步間違えれば誰かの命を奪うことになりかねません。契約の箱を運ぶ途中で命を落としたウザの例があります。契約の箱に触れるというミスを犯しました。彼は良いことをしていると思たのです。第 2 サムエル記 6 章 1 節から 7 節です。

—II サムエル 6:1—

ダビデは再びイスラエルの精鋭三万をことごとく集めた。

—II サムエル 6:2—

ダビデはユダのバアラから神の箱を運び上げようとして、自分とともにいたすべての兵と一緒に出かけた。神の箱は、ケルビムの上に座しておられる万軍の主の名でその名を呼ばれている。

—II サムエル 6:3—

彼らは、神の箱を新しい荷車に載せて、それを丘の上にあるアビナダブの家から移した。アビナダブの

子、ウザとアフヨがその新しい荷車を御した。

—IIサムエル 6:4—

それを、丘の上にあるアビナダブの家から神の箱とともに移したとき、アフヨは箱の前を歩いていた。

—IIサムエル 6:5—

ダビデとイスラエルの全家は、豎琴、琴、タンバリン、カスタネット、シンバルを鳴らし、主の前で、すべての杉の木の枝をもって、喜び踊った。

—IIサムエル 6:6—

彼らがナコンの打ち場まで来たとき、ウザは神の箱に手を伸ばして、それをつかんだ。牛がよろめいたからである。

—IIサムエル 6:7—

すると、主の怒りがウザに向かって燃え上がり、神はその過ちのために、彼をその場で打たれた。彼はそこで、神の箱の傍らで死んだ。

神の敵であるペリシテ人は契約の箱を奪いました。彼らはサウル王との戦いで契約の箱を奪い、その戦いでサウル王は死にました。ペリシテ人は7カ月間、それを所有していました。民の間に災いが起こりました。人々は病気になり、そのため、契約の箱を非難しました。また、彼らの像であるダゴンはうつ伏せに倒れ続けました。そこで彼らは契約の箱をイスラエル人に送り返しました。契約の箱はサウル王の息子アビナダブの家に留まりました。アビナダブは父とともに戦死しましたが、契約の箱は息子たちとともに彼の家に残されていました。20年間、そこに保管されていました。ダビデが王となり、エルサレムに契約の箱を置くことを望みます。60年間、契約の箱はエルサレムになかったのです。契約の箱は神の臨在を象徴していました。ダビデは神の臨在と祝福が民の周りであることを望んでいました。こうして契約の箱は会見の幕屋に保管されました。ダビデは神に美しい神殿を建てたいと願いました。彼は契約の箱を新しく建てられた神殿に置くつもりでした。神はこう言われました。

「ダビデ、あなたの手は多くの血を流してきた。あなたの息子ソロモンが神殿を建てる。」(I歴代誌 28 参照)

繰り返しますが、契約の箱は幕屋の中で最も重要なものでした。この地上の神の御座と考えられていました。それは神の指示に従い、特定の 방법으로保管され、扱われるべきものでした。神の指示は常に従うべきものでした。それらは常に尊重され、敬意を払われるべきものでした。ダビデは契約の箱に関して重大な過ちを犯しました。ダビデは契約の箱を荷車で運ぶという過ちを犯しました。それは常にレビ人の祭司によって運ばれることになっていました。レビ人の祭司たちは、2本の棒をつかみます。この棒を契約の箱の輪に通します。その後、祭司の男たちが棒を持ち、契約の箱を新しい宿营地まで運び入れます。契約の箱には決して触れてはなりません。第二サムエル記6節から7節では、第二の過ち、不従順の行為が見られます。神の神聖さを尊重していなかったのです。牛がつかずき、契約の箱が倒れ始めました。ウザは契約の箱を救おうと手を伸ばしましたが、その場で死んでしまいました。誰も契約の箱に触れることはできなかったので、これは重大な違反です。幕屋の用具に触れることは禁じられていました。神ご自身の神聖さを犯すことになります。第一サムエル記の前半では、ベト・シェメシュの男たちが覗き込みました。彼らは契約の箱を開け、5万人が死にました。ダビデが犯した第三の過ちは、主がウザの命を取られたので、主に腹を立てたことです。しかし、主を愛したダビデは、重要な教訓を学びました。教訓のひとつは、この契約の箱の運搬に関する神の指示を学ぶべきだということです。もうひとつの教訓は、



主を健全に恐れることです。私たちは皆、神に対して多くの愛を持っていますが、神との関係には健全な恐れが必要であり、神がどのようなお方であるかに対する尊敬と畏敬の念が必要です。神がおられる天国には、暗闇はまったくありません。第1ヨハネの手紙1章5節にこうあります。

—1ヨハネ 1:5—

**私たちがキリストから聞き、あなたがたに伝える使信は、神は光であり、神には闇が全くないということです。**

神が住まわれる場所、天国、そして契約の箱の中にさえ罪は存在し得ないことを忘れてはなりません。神の住まわれるところに罪が存在できないように、罪深い性質を持つ私たちの肉体は、神と共存することはできません。天国で、私たちは栄光の体を受け取ります。神の神聖さに耐えることのできる新しい体を受け取ります。その明るさとまばゆさは、地上の体が天国で燃え尽きてしまうほどです。だからこそ、イエスとその十字架上の死は極めて重要なのです。イエスは私たちの神との仲介者です。イエスの犠牲は、私たちの罪に対する神の裁きをなだめました。イエスの体は砕かれ、血が流されました。私たちは赦され、天国に行くことができます。しかし、信仰によって、私たちはイエスを呼び求める必要があります。イエスがいないければ、神がおられる場所に私たちは存在できません。これほど清く聖なる場所に罪は許されません。だからウザは契約の箱に触れて死にました。ウザと神との間には仲介者が必要でした。ウザは罪を犯した人間であり、神がおられる聖なるもの、契約の箱に触れてしまったのです。彼には仲介者が必要でした。第1テモテへの手紙2章3節から6節にこうあります。

—1テモテ 2:3—

**そのような祈りは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることです。**

—1テモテ 2:4—

**神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。**

—1テモテ 2:5—

**神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。**

—1テモテ 2:6—

**キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えてくださいました。これは定められた時になされた証しです。**

私たちはまた、正しい方法で神に近づく必要があります。世界は自分たちのやり方で神に近づこうとし、神の御言葉を無視し、神がどのようなお方で、どのように世界を支配されるべきかについて、自分たちの頭で考えています。神は私たちに神の方法を与えてくださいました。ヨハネの福音書14章6節。

—ヨハネ 14:6—

**イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできません。**

私たちの救いに関わることなので、主に近づき、その指示に耳を傾ける必要があります。世が規定する方法で神に近づこうとすると、神から永遠に引き離されてしまいます。神の方法で神に近づくとき、私たちは天国で神に会います。ヨシュア記3章7節にこうあります。

—ヨシュア 3:7—

主はヨシュアに告げられた。「今日から全イスラエルの目の前で、わたしはあなたを大いなる者とする。わたしがモーセとともにいたように、あなたとともにいることを彼らが知るためである。一步一步に信

仰が必要でした。特にこの挑戦には、川は激流で、流れも強かったのです。ヨルダン川を渡る場所はありませんでした。この日、川を渡ることは不可能に見えました。完璧です。今、神が働かれるからです。しかし主は、ヨシュアという男が神ご自身に選ばれた男であることをイスラエルの民に示されます。彼はモーセと同じ資質を持っていると。神はモーセのようにヨシュアを高くされます。神は彼を全イスラエルに見せ、神の人がどのような人であるかを見せようとされます。彼が神を愛していたことも、その一因でした。もう一つの特徴は、彼が信仰の人であったことです。ヨシュアは自分を持ち上げるような人ではありませんでした。彼は自分の賜物の中にとどまり、主が望まれることを主にしていただきました。ヨシュアに従う多くの人たちは、何が起こるかまったく想像していませんでした。彼らは従順に待ち、神はヨシュアと共に現れてくださいました。ヨシュア記3章8節から11節にこうあります。

ーヨシュア 3:8ー

あなたは契約の箱を担ぐ祭司たちに『ヨルダン川の水際に来たら、ヨルダン川の中に立ち続けよ』と命じよ。』

ーヨシュア 3:9ー

ヨシュアはイスラエルの子らに言った。「ここに来て、あなたがたの神、主のことばを聞きなさい。」

ーヨシュア 3:10ー

ヨシュアは言った。「生ける神があなたがたの中において、自分たちの前からカナン人、ヒッタイト人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、アモリ人、エブス人を必ず追い払われることを、あなたがたは次のことで知るようになる。

ーヨシュア 3:11ー

見よ。全地の主の契約の箱が、あなたがたの先頭に立ってヨルダン川を渡ろうとしている。今、部族ごとに一人ずつ、イスラエルの部族から十二人を取りなさい。

神はヨシュアにさらなる指示を与えられます。ヨシュアは興奮し、民に語ります。「来て、神の御言葉を聞きなさい。」ヨシュアは今、神の民を激励しています。スポーツをやったことのある人なら、激励がどんなものか知っているでしょう。試合前、監督かキャプテンのどちらかが立って話します。時には落ち着いていることもあるでしょう。ほとんどの場合、怒鳴ったり叫んだりしていました。フットボールでは選手を興奮させます。彼らはフィールドに出て、誰かにぶつかるのが待ちきれないんです。ー（笑）ー私はハワイ大学でプレーし、初めてプレーした試合は1年生の時だったと思うのですが、島を離れて初めての試合でした。私たちは、50点差で優勢だったワシントン・ハスキーとの対戦に臨みました。1973年の年鑑で調べてみてください。私たちが彼らのロッカーを通り過ぎると、彼らは私たちに向かって「アロハオエ♪」と歌っていました。そして試合後、彼らは10対7で逆転されたことに泣いていました。主将のリーバイ・スタンリーは試合開始前、他にはない激励の言葉をかけてくれました。彼は私たちをすごく興奮させました。私たちは全米ランクのワシントンを逆転しました。すみませんね。ー（笑）ー彼女はワシントンのファンなんです。ヨシュアは準備のために部隊を集めています。敵は川の向こう側にいます。彼らは戦いに備えています。神は私たちとともにおられ、私たちのためにおられます。レビ人が運んでいる契約の箱の中におられます。「準備をしなさい。出発だ。」ヨシュア記3章12節から17節

ーヨシュア 3:12ー

全地の主である主の箱を担ぐ祭司たちの足の裏が、ヨルダン川の水の中にとどまるとき、ヨルダン川の水は、川上から流れ下る水がせき止められ、一つの堰となって立ち止まる。』

ーヨシュア 3:13ー

民がヨルダン川を渡ろうとして彼らの天幕から出発したとき、契約の箱を担ぐ祭司たちは民の先頭にいた。

ーヨシュア 3:14ー

箱を担ぐ者たちがヨルダン川まで来たとき、ヨルダン川は刈り入れの期間中で、どこの川岸にも水があふれていた。ところが、箱を担ぐ祭司たちの足が水際の水に浸ると、

ーヨシュア 3:15ー

川上から流れ下る水が立ち止まった。一つの堰が、はるかかなた、ツアレタンのそばにある町アダムで立ち上がり、アラバの海、すなわち塩の海へ流れ下る水は完全にせき止められて、民はエリコに面したところを渡った。

ーヨシュア 3:16ー

主の契約の箱を担ぐ祭司たちは、ヨルダン川の真ん中の乾いたところにしっかりと立ち止まった。イスラエル全体は乾いたところを渡り、ついに民全員がヨルダン川を渡り終えた。

アーメン？（会衆：アーメン）

信仰によって歩み、神を信頼することは力強い結果をもたらします。ヨシュアは司令官と祭司たちに命じました。彼は神の召しに従順でした。司令官、祭司、民は水の中に足を踏み入れました。彼らは信仰を行使し、神は彼らを祝福されました。これから先は長い道のりですが、これがスタートでした。18 マイル上流のアダムという町で、水が止まり、盛り上がりました。エリコから 8 マイル下流では、200 万人以上のイスラエル人がヨルダン川の乾いた地面の上を渡りました。これから 8 マイル先にエリコがあり、最初の戦いがあります。神が天地を創造されたと信じるなら、神がヨルダン川を止められることに何の問題もありません。イエスが処女の母マリアを通してお生まれになったと信じるなら、紅海はあなたの中で問題ではないでしょう。聖霊が自分のうちに住んでおられ、救われていると信じるなら、ヨナが大きな魚に飲み込まれても、何の問題もありません。アーメン？（会衆：アーメン）

イエスの体が砕かれ、その血が注がれたのは、あなたが救われるためであり、信仰によって神の救いの計画を信じるなら、あなたは永遠に天国を楽しむことに何の問題もありません。今夜は、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストを畏れ敬うからこそ、主を称えたいと思います。聖餐式に与りながら、主が私たちのためにしてくださったことを思い出しましょう。オンラインの皆さんもぜひご参加ください。聖餐式セット、パン、ジュースが必要です。イエスが生まれる 700 年前、イザヤは救い主イエスの到来を予告していました。また、なぜイエスが来られるのかを予告しました。想像してみてください。救い主が誕生する 700 年も前に、誰かが救い主の到来を預言していたのです。彼の名はイザヤです。イザヤが誰について書いているのか、私たちは知っています。本文を読めば一目瞭然です。私たちはまた、聖書全体はイエスについて書かれていることも知っています。イザヤ書 53 章です。

ーイザヤ 53:1ー

私たちが聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕はだれに現れたか。

ーイザヤ 53:2ー

彼は主の前に、ひこばえのように生え出た。砂漠の地から出た根のように。彼には見るべき姿も輝きもなく、私たちが慕うような見栄えもない。

ーイザヤ 53:3ー

彼は蔑まれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で、病を知っていた。人が顔を背けるほど蔑まれ、私たちも彼を尊ばなかった。

—イザヤ 53:4—

まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みを担った。それなのに、私たちは思った。神に罰せられ、打たれ、苦しめられたのだと。

—イザヤ 53:5—

しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

—イザヤ 53:6—

私たちはみな、羊のようにさまよい、それぞれ自分勝手な道に向かって行った。しかし、主は私たちすべての者の咎を彼に負わせた。

—イザヤ 53:7—

彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。

—イザヤ 53:8—

虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。

—イザヤ 53:9—

彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。

—イザヤ 53:10—

しかし、彼を砕いて病を負わせることは主のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。

—イザヤ 53:11—

「彼は自分のたましいの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を負う。

—イザヤ 53:12—

それゆえ、わたしは多くの人を彼に分け与え、彼は強者たちを戦勝品として分かち取る。彼が自分のいのちを死に明け渡し、背いた者たちとともに数えられたからである。彼は多くの人を罪を負い、背いた者たちのために、とりなしをする。」

杯を手にとって、開きましょう。パンを手に取り、共にいただきます。その前に祈りましょう。

父よ、あなたの御前に参ります。主よ、私たちは十字架を決して忘れません。父よ、私はいつも祈り、あなたが救いの道を、私たちが救われる道を造ってくださったことを常に感謝します。主が十字架にかかり、御子を遣わさなければならなかった私たちの罪をお赦してください。しかし、主よ、それはあなたを喜ばせたことがわかります。私たちはあなたと交わることができるようになったからです。そして今、あなたの御子はあなたの右におられます。イエスさま、感謝します。私たちは、あなたが十字架上で私たちのためにしてくださったこと、あなたの体がどのように砕かれたかを、決して忘れません。だから私たちは、あなたがしてくださったことにただ感謝するために、あなたの御前に進み出ます。私たちは決して

忘れません。私たちが封印し、私たちの内におられ、私たちを導き、栄光から栄光へと導いてくださるあなたの聖霊に感謝します。あなたは三位一体です。父、御子、聖霊です。あなたが私たちを通して働けるように、私たちのうちに行なってくださっている働きに感謝します。だから、主よ、あなたの体が砕かれたことをもう一度感謝します。私たちは決して忘れません。いただきましょう。私たちのために注がれたイエスの血の象徴であるジュースの蓋を開けましょう。いただく前に、祈りましょう。父よ、あなたの御座に進み出ます。主よ、あなたが刺し貫かれたことを決して忘れません。主よ、あなたの打ち傷によって、私たちは癒されました。あなたの血によって、私たちが雪のように白くされたことを感謝します。そして主よ、私たちはあなたの御前に行き、...あなたが経験された痛みを私たちが想像するのはとても難しいことです。

主よ、私たちはただあなたに感謝するために、あなたの御前に来ました。私たちは決して忘れません。主よ、あなたがなさろうとしておられるすべてのことに感謝するために、あなたの御前に来ました。私たちはあなたを愛し、あなたを礼拝し、決して忘れません。主よ、あなたのなさったことを心から賛美します。あなたが御父を愛し、私たちを愛してくださったゆえに、御父に従順であったことを感謝します。そうして、あなたはご自分の体をいけにえとして捧げられました。杯を共にいただきましょう。終わりましたら、お立ちください。

天の父よ、今夜のこの学びを感謝します。主への畏れ、敬い方、尊び方、愛し方、そして遠い昔にあなたが私たちのためにしてくださったことを思い出す方法を教えてくださったことを感謝します。私たちは、あなたに呼び求めた私たちの信仰と愛のゆえに、永遠の命を持っています。私たちの多くは、長い間あなたと共に歩んできた者もあり、つい最近来ただばかりの者もあります。そうできたことを感謝します。私たちは、主よ、あなたを賛美し、あなたがこの世界で行なっておられるすべてのことに感謝するために、あなたの御前に進み出ます。主よ、私たちはいつも、「マラナタ、主よ、早く来てください！」と言います。しかし、主よ、私たちは、主が選ばれた者でまだ降伏していない者がいることを知っています。彼らが急ぐことを祈ります。主よ、私はあなたの前に出てただあなたに感謝します。主よ、私の自己中心をお赦しください。私たちはこの場所に疲れました。ここは私たちの家ではありません。今夜、あなたがこの先なさることにただ感謝します。すべての賛美と栄光をあなたにお捧げします。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7